

## 島根県警察本部等と連携して悪質住宅修理業者への注意喚起

～特殊詐欺への注意喚起も付記した啓発マスク 3,000 個を作成して、被害防止を訴える～

日本損害保険協会島根損保会（会長：荒川 貴博・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 島根支店 支店長）は、島根県警察および島根県防犯連合会と連携して、悪質住宅修理業者および特殊詐欺への注意喚起を付記した啓発マスク 3,000 個を作成しました。

2月26日（月）14時から、島根県警察本部で、島根県警察本部生活安全部・武上 武志 部長（公益社団法人島根県防犯連合会参与）および公益社団法人島根県防犯連合会・小谷 直也 専務理事などが出席して、同マスクの寄贈式が開催され、荒川会長から、武上部長に同啓発マスクを寄贈しました。

荒川会長から、「地震などの災害後、悪質な住宅修理業者とのトラブルが多く発生しています。このような業者は、保険金の請求に関する高額なサポート手数料やキャンセル料を請求する場合があります。トラブルの相談者は70歳以上が約半数を占めており、このようなトラブルを撲滅しましょう」と挨拶がありました。

次いで、武上部長から、「島根県内の特殊詐欺の被害額は昨年5年ぶりに1億円を超えて深刻な状況になっています。能登半島地震では、被災者を狙った悪質商法もありました。被害抑止のために取り組んでいきます」と挨拶がありました。

当支部では、行政や関係機関と連携して、引き続き、安全・安心な社会の実現に貢献していきます。



荒川会長（左）から武上部長（右）にマスクを寄贈



山田事務局長 荒川会長 武上部長 小谷専務理事



懇談の様子



啓発マスク